

# 平成28年度 事業計画

## 1、全体の事業

- (1) 柏崎市シルバー人材センターは「公益性を重視した公益社団法人」のセンターとして、地域社会に貢献する
- (2) 厳しい経済情勢を乗り越えるため、役員及び会員一丸となり事業の拡大を図るとともに、新規会員の拡充、モラルの向上、就業意識の高揚を図る
- (3) センターは、会員が働く事、社会貢献をする事により生きがい感や達成感を得られる所であるよう、さらに諸事業を推進するとともにコンプライアンス、リスクマネジメントを強化する
- (4) きらっと光る良いお店「新潟県知事賞」、内閣府「社会参加章」を受賞した「シルバーふれあいサロンやまゆり」をより一層、会員、市民、商店街に溶け込むようにする
- (5) 遊休地、耕作放棄地を有効活用し、直売所と連携した農業支援事業を行う
- (6) 労働局の指導に基づき適切な契約処理を行い、請負・委任になじまない仕事については一般労働者派遣事業として推進する。また、必要に応じ有料職業紹介を行う
- (7) 介護保険法に基づく訪問介護事業、居宅介護支援事業を推進する
- (8) 事故ゼロを目指し、パトロールや研修を行い、会員自身の健康管理を推進しながら、より一層安全就業に努める
- (9) 柏崎市より指定された管理者として、ワークプラザ柏崎の管理運営を行う
- (10) 地域ニーズ対応事業として市と連携した「買い物弱者支援事業」を行う
- (11) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、派遣事業に特化した人材の掘り起こし、雇用就業先の確保、高齢者の就業機会の拡大を図る
- (12) 介護予防・日常生活支援総合事業の協議体として市と連携を図る
- (13) 空き家対策事業の推進を目的として市と諸団体との連携を図る

## 2、組織活動

理事会 原則として毎月開催

広報部会

- (1) 「シルバーだより柏崎」の発行 年2回実施

第112号 平成28年9月15日 10ページ

第113号 平成29年4月15日 10ページ

- (2) 編集方針

1. 事務局・理事会の動き、事業の計画・報告、各地区活動の状況、いきいき就業体験やシルバーめい人登場、部会活動の紹介、シルバー人材センター事業のPR、ワークプラザ柏崎のPR、「やまゆり」通信など
2. 「シルバーだより柏崎」の見やすい親しみのある会報を目指す。  
(読みやすく写真を多く)

- (3) 「シルバーだより柏崎」の周知

1. 全国のシルバー人材センターへメールで配信
2. ホームページにシルバーだよりを掲載する

## 研修部会

- (1) 事業普及啓発促進月間の実施（10月1日～31日）
  - ・シニアじまん展に参加し、シルバー人材センターのPR活動を実施する。
  - ・事業啓発パンフレットとポケットティッシュを配布する。
  - ・ワークプラザ柏崎感謝祭でシルバー人材センター紹介コーナーを設置し開催に協力する
- (2) 10月第3土曜日の「シルバーの日」を中心に各地域においてボランティア活動（クリーン作戦）を実施する。（地区委員、班長に協力要請）
- (3) 新聞等にシルバー人材センター関係記事を掲載依頼する。
- (4) 会員研修会を実施する。
- (5) 事務局、他部会と連携し、各種講習会を企画する。

## 安全部会

### 1、重点目標

「点検・声かけで事故防止、健康で無理せず安全就業」  
つもり・はず・たぶん・だろが事故のもと

### 2、実施計画

今年度は死亡事故から3年、安全適正就業への意識がマンネリ化し、緊張感が薄くなる時期でもあり、もう一度手綱を引き締め、安全就業への意識を再確認する年度にしたい。危険予知を意識した就業を呼び掛けて行くとともに、「もう一度手綱引き締め、一人一人が事故を起こさない、合わない」をテーマに活動を展開する。

#### (1) 組織を生かした意識啓発

##### イ、安全・適正就業推進委員への協力要請

- ・安全・適正就業推進委員及び職群班合同会議（3月）：安全就業パトロール体験発表
- ・地区委員長会議（適宜）
- ・地区研修会（適宜）

##### ロ、安全部会の開催（適宜）

- ・年間活動の具体策について
- ・新年度事業計画について
- ・安全対策についての検証
- ・事故発生時の対応

#### (2) 安全・適正就業対策の総点検の実施

- イ、作業前朝礼の実施と事前点検 安全・適正就業ミーティングチェックシートの活用徹底
- ロ、機械器具、安全保護具の点検整備、装着状況（安全就業パトロール時に実施）
- ハ、就業現場の総点検
  - ・安全・適正就業推進委員による安全就業パトロールの実施（6月～11月で、計7回）屋外作業を中心にした職群班を対象
- ニ、安全部会による事故調査並びに再発防止の周知徹底

#### (3) 安全・適正就業強化月間の取り組み（6/1～9/10 無事故100日キャンペーンを展開）

- イ、安全意識啓発のための注意喚起
- ロ、資料配付
- ハ、安全・適正就業推進研修会（県連合主催）への参加

(4) 会員の健康管理について

- イ、職群班毎に救急薬品の提供
- ロ、血圧計、ヘルスマーター、視力測定等による簡単な健康管理の奨励（事務局に設置済み）
- ハ、市民検診、個人検診による健康管理の徹底

(5) その他の啓発活動

- イ、声かけ運動の実施 朝礼時に声だし運動シートを全員で唱和
- ロ、ヒヤリ・ハット報告書の募集
- ハ、安全掲示板の設置（事故発生状況を掲示）
- ニ、安全就業シール配布
- ホ、トラブルレポートの作成
- ヘ、安全就業通信の全会員配布（年3～4回）
- ト、熱中症や凍結転倒防止等季節的な注意喚起（適宜）
- チ、「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- リ、就業先の明確化（家族への就業先の明示）

## 事業部会

リサイクル事業を中心に活動し、それぞれの事業の売り上げ増大や活性化に協力する。

(1) シルバーふれあいサロン「やまゆり」

全国でも珍しい120人のボランティアによる運営、地産地消の推進、生き甲斐場の創出などが評価されており、他シルバー人材センターから注目され視察も相次いでいることから、28年度もお客様に喜んで貰える直売所兼サロンとして運営する。

3年目となる買い物支援事業の拠点として柏崎市の施策や商店街の活性化に協力する。

ボランティア会員が気持ちよく参加して貰えるような環境を整え、お客様にさらに利用して貰えるよう商品・店内陳列に配慮する。PRを兼ねた各種イベントへの参加を継続する。やまゆり独自のイベントも検討する。

(2) 刃物研ぎ

27年度の事業開拓が実を結び、28年度は新規の会場が5件加わるため、より一層の売り上げ増大を目指す。さらなる新規会場開拓のため各町内会等への呼び掛けをする。町内会にお願いし、各家庭へ刃物研ぎやシルバー事業のPRチラシを配布していただく。事業が円滑に行えるよう作業者をバックアップしたり、お客様に度々利用してもらえるような対応を心掛ける。効率の良い事業を目指す。

(3) リサイクル自転車

再生できる自転車が年々減ってきていることを考慮し、自転車の確保の手段を模索する。再生した自転車は完売を目指し、ワークプラザ感謝祭での販売時には陳列、受付等協力する。

(4) チャイルドシート貸し付け

チャイルドシート着用率の向上に寄与し、リサイクルの促進を図るためこの事業を継続する。チャイルドシートの寄付依頼のチラシを小学校に配布していただくなど、台数の確保に力を入れる。29年度に向け貸し出し期間と料金の見直しを検討する。

## 女性部会

(1) 福祉・家事援助サービス事業及び、介護保険事業の拡大を図るためのPR活動を実施する。

- ・シニアじまん展にて作品展示、パンフレット配布、各自口コミ活動など

- (2) 就業の質の向上・拡大のための各種講習会を実施する。
  - ・料理講習会、手芸講習会
- (3) 女性会員の増強・拡大のため研修部会と協力し一般の方も含めた講習会を企画する。
- (4) 手芸や編み物など販売できる商品の製作の手助けをし、「シルバーふれあいサロンやまゆり」の運営に協力する。
  - ・手芸の会を開催
- (5) 他部会と連携し、安全研修会を実施する。

#### 総務部会

- (1) 中長期計画策定委員会と連携し、策定に協力する。
- (2) 中長期計画に沿った運営をしているか検証し必要に応じ軌道修正を提言する。
- (3) 会員研修旅行・交流会などを企画する。
- (4) その他、どの部会にも属さない事項や問題点を検討し、事象の解決に当たる。

#### 3、介護保険事業

- ・訪問介護事業に於いては、新潟県シルバー人材センター連合会の委託を受け、介護職員初任者研修（ヘルパー資格取得）を行い、人材を確保する。
- ・居宅介護支援事業に於いては、事業所加算を継続し、より高度な支援を心がける。
- ・訪問介護員及び介護支援専門員の研修に努め、サービスの向上を目指す。

#### 4、ワークプラザ柏崎

- ・「ホテルのフロントのような対応」を心がけ、利用者の満足度向上に努める。
- ・稼働率を意識し、積極的な自主事業、感謝祭などを行い、新たな集客と、リピーターの定着に努める。
- ・市民が安心して利用できるよう、安全、衛生管理の徹底に努め、アンケートを実施して、お客様の声を反映させる努力を行う。

#### 5、連携

- (1) 柏崎市、新潟労働局、新潟県労政雇用課及びハローワークとの情報交換を密に行う。
- (2) 全国シルバー人材センター事業協会、北信越シルバー人材センター連合会及び新潟県シルバー人材センター連合会及び他のセンターと連携し、主催行事に参加して情報交換と資質の向上を図る。